



## 佐渡を世界遺産に

は明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定し実践する法人です。

そのための戦略を策定し実践する法人です。

佐渡空路については、県と連携し、佐渡―新潟間の定期便の早期再開に向けた取組を進めるとともに、2千メートル化など様々な課題に真摯に取り組んでまいりたいと考えています。

1点目として、現状の観光スキームを見直し、地域の多様な関係者が連携し、科学的なアプローチを取り入れた観光地域づくりを行う舵取り役である佐渡版DMOの構築に取り組みます。DMOとは明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定し実践する法人です。

そのための戦略を策定し実践する法人です。

佐渡空路については、県と連携し、佐渡―新潟間の定期便の早期再開に向けた取組を進めるとともに、2千メートル化など様々な課題に真摯に取り組んでまいりたいと考えています。

佐渡への誘客を強力に推し進めていくために、佐渡金銀山の世界遺産登録を引き続き目指します。それに並行しながら、世界遺産登録後、観光客に何度も訪れてもらうためには、受入態勢の整備を進めていくことも必要です。

従来の観光関係事業者中心の振興策ではなく、顧客ニーズの分析や地域経営の視点に立つて、一次産業や文化・スポーツ、地域など多様な関係者と一体となって旅行者を受け入れる自立的で継続的な観光地域づくりが求められています。

本年4月には特定国境離島振興に係る特別措置法が成立しました。国は今後、その予算化の作業に入りますが、旅客、貨物の航路運賃の低廉化が実現されるよう強く働きかけます。また、佐渡汽船の自助努力による経営安定を求めるとともに、国、県、対岸市等とともに航路の活性化協議に力を注ぎます。

### (3) 佐渡金銀山世界遺産登録と受入態勢整備

3点目として、農商工連携と6次

産業化による加工施設の設置と雇用創出を進めます。

ち上げ、佐渡版DMOの形成を目指します。

また、担い手の育成に向けて、単なる補助金行政から脱却し、JAなどの農業団体や市など、官民あわせた連携の中で、担い手育成の中長期ビジョンの策定や、新たな法人の設立、法人の大規模化などを支援する枠組みを検討します。

佐渡で活躍する農林水産業者と商工業者が連携し、豊かな自然の恵みから生み出された製品の付加価値を高める加工施設の設置計画の検討などから、農商工連携と6次産業化を促進し、所得確保と雇用拡大を図ります。

2点目として、さらなる観光客の増に向けて外国人誘客を強化します。MICE(ワイフアイ)の整備や、世界的三資産を語れるガイドと地域限定の誘致、バス車内の英語アナウンス、消費税免税店の導入推進などに加え、公衆トイレの洋式化、看板の多言語化、民泊の検討などの受入態勢を整備します。

以上、今後の市政運営についての所信を述べました。当然ながら、本日申し上げた施策以外にも、福祉、教育、医療などの重要な施策を進めていく必要があります。

喫緊の課題もあれば、長期的な戦略を組み立てながら、しっかりとレールを敷いていかなければならない課題など、多種多様であることは認識していますし、一つ一つ吟味しながら、確実に推し進めます。

また、施策の具体化については、基本的には今後順次詰めていくことになりませんが、それらを実のあるもの、より効果的な施策にするためには、幅広く市民の皆さまの意見を聞かせていただかなくてはなりません。

「市民はお客様」であり、「市民は株主」であるという意識を職員に徹底させながら、さまざまな課題に挑みます。私には、行政経験はありませんが、これまで民間企業で培ってきた経験と視点をもって、佐渡市の再生に向けて精一杯、取り組みます。

何とぞ、市民の皆さま、市議会議員の皆さまの深いご理解とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。私の所信表明とします。